

かんきょう 4. 環境を守る

4-1 行政の取り組み

◆国土交通省の取り組み

柿田川は一級水系狩野川の支川で、日本最短の一級河川です*。河川管理は国土交通省沼津河川国道事務所が行っています。沼津河川国道事務所では、環境を守る様々な取り組みを行っています。

■河川環境の調査

河川環境の現況と変化を把握するために、1963年から湧水量調査、1983年から水質調査、1991年からは生物調査（河川水辺の国勢調査）を継続して実施しています。

■自然再生のための事業（柿田川環境護岸整備事業）

柿田橋の上下流で、コンクリートの護岸工事で失われたかつての自然環境を再生する取り組みをしています。（図4-1参照）

水際は木やコンクリートの枠に石を詰めて魚のすみかをつくり、護岸はブロックを使って緑化しています。（図4-2参照）

整備前



図4-1 護岸整備位置図（2002.2撮影）



図4-2 整備後（2002.10撮影）

■ インターネットでの柿田川の紹介 しょうがい

沼津河川国道事務所では、ホームページ「インフォメーションかのがわ」を作成して、柿田川や狩野川の情報をインターネットで紹介しています。(図4-3参照)

ホームページのアドレスは <http://www.nwo.go.jp/> です。

「インフォメーションかのがわ」では、柿田川の水中の様子を見ることができる水中ライブカメラ、バーチャル狩野川水族館、狩野川空中散歩など柿田川や狩野川の美しい自然を楽しむことができます。

Numazu Office of River and National Highway makes a great effort at protecting the environment by doing the following: research on the surrounding environment, a project to regenerate nature, and the introduction of the Kakita River on the internet.



インフォメーションかのがわトップページ

水中ライブカメラはインパク(インターネット博覧会)で2つの賞を受賞しました。



いふまる



バーチャル狩野川水族館



柿田川ライブカメラ

図4-3 インフォメーションかのがわ

※一級河川とは？河川には等級があるの？

河川の等級は一級河川、二級河川、準用河川に分かれています。

これらの河川は河川法(河川に関する法律)によって管理する区間の指定を行っています。その他の小さな河川は普通河川といえます。

○一級河川の管理者は国土交通大臣です。

(ただし、指定区間は都道府県知事が管理の一部を行うことができることとなっています。)

○二級河川の管理者は都道府県知事です。

○準用河川・普通河川の管理者は市町村長です。

指定は、一級河川は国の河川審議会、二級河川は都道府県の河川審議会の審議結果を踏まえたものとなっています。一級、二級の区別は流域面積の大きさや流域内の人口などを考慮しています。

◆清水町の取り組み

■柿田川公園の整備

清水町では、国道1号に隣接した柿田川の上流部に柿田川公園を整備し、1986年開園しました。(図4-4参照) 園内の第1、第2展望台では、地下水が湧き出る「湧き間」を間近に見ることができます。公園では「湧水まつり」などの行事が行われており、町民のいこいの場となっています。(写真4-1参照) 町では清掃活動や柿田川の民有地の買収を行い、柿田川の環境の保全に努めています。

The City of Shimizu maintains the Kakita River Park at the upper reaches of the Kakita River near the National Route 1.

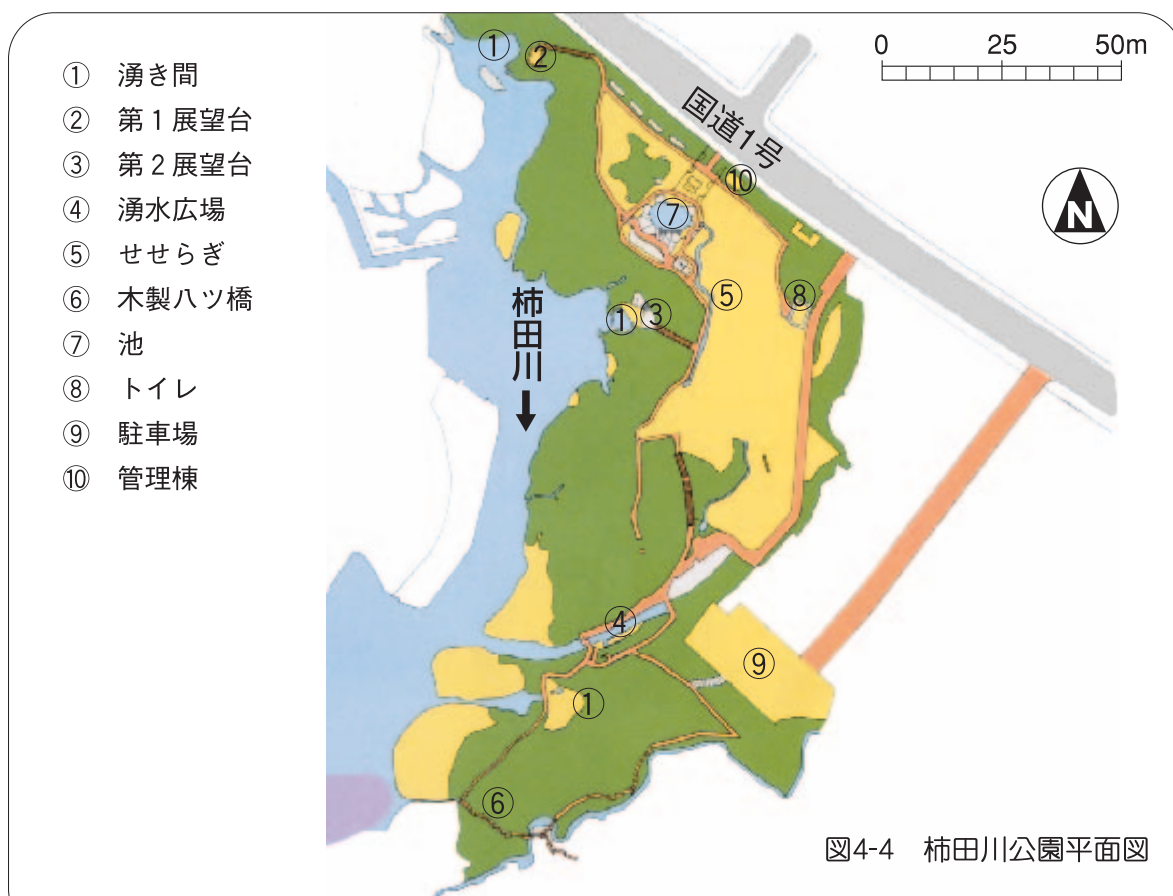


写真4-1 柿田川公園

■自然観察園（教材園）の整備 —学校の教材に柿田川を利用—

柿田川のそばにある清水小学校では、柿田川の水辺の一部を自然観察園として利用しています。自然観察園は柿田川の様々な自然を観察する場として、^{子ども}子供たちによって利用されています。^(写真4-2参照) 5、6年生は、ホタルの飼育も行っています。

自然観察園は、清水小学校へ事前に申し込めば一般の人も見学することができます。

The Shimizu Elementary School, which is located by the Kakita River, uses part of the riverbank for natural studies.



写真4-2 自然観察園での自然観察

4-2 地域の取り組み

◆柿田川のトラスト運動

■柿田川を後世に伝える取り組み

柿田川では貴重な自然を後世に伝えるために、ナショナル・トラスト運動が行われています。

ナショナル・トラスト運動は、広く国民から寄付金を集めて基金を積み立て、保護が必要な土地を買ったり借りたりする運動です。

柿田川では、1988年に(財)柿田川みどりのトラストが発足し、既に約9,400件、総額1億円以上の基金が積み立てられ、一部の土地を買収・借り上げています。寄付金の約半分は静岡県内、約半分は県外の全国から寄せられ、柿田川に対する全国的な関心の高さを示しています。

(財)柿田川みどりのトラストは募金活動だけでなく、柿田川の自然を守るために、自然観察会、環境調査、保全活動、植樹、出版物の刊行等の様々な活動を行っています。

(写真4-3、4.5、6参照)

In order to hand on this valuable natural asset to posterity, the people of the Kakita River region have established the Kakita River Green Trust Committee. The Trust has purchased some, and leased other parts of the land by the river.

In addition to a campaign to raise funds, the Trust is also active in the following areas in order to protect the environment: observation of nature activities, research of the environment, preservation activities, planting of trees, and publishing, etc.

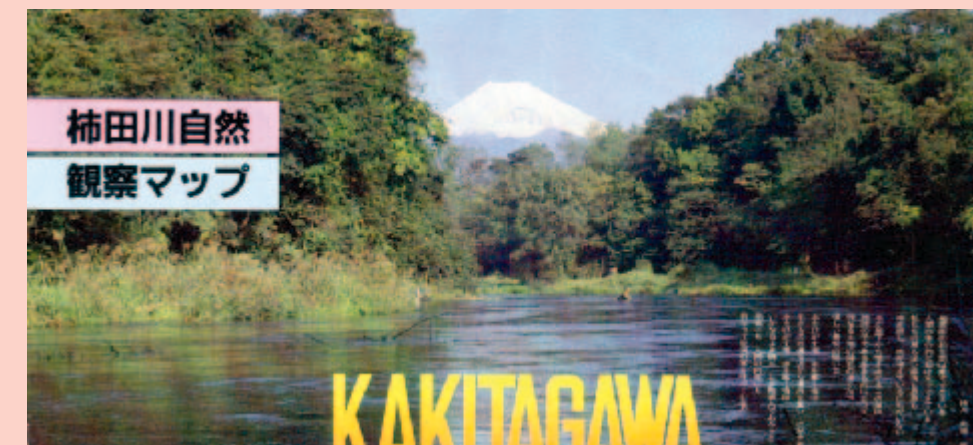


写真4-4 (財)柿田川みどりのトラストの出版物



写真4-3 自然観察会



写真4-5 保全活動



写真4-6 環境調査

◆^{かんきょう}柿田川の環境美化運動

柿田川が全国的に有名になるにつれて、多くの見学者が訪れ、ゴミの^{おとず}投棄が目立つようになりました。^{とうき}(財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川湧水保全の会では、地元住民を中心に地道な環境美化活動を行っています。^{ゆづい}(写真 4-7 参照)

これらの組織では、湧水の豊かな水環境を自ら守る気持ちを高めるために、町と協力して柿田川周辺の^{せいそう}清掃活動をしています。清掃活動には町民、水と緑の少年団、清水中学校の生徒など多くの住民が参加しています。^(資料 4-1 参照)

In order to enhance community awareness of the need to protect the rich spring water environment, the Kakita River Preservation Club conducts a clean-up campaign near the River in cooperation with the City.



写真4-7 活動の様子（湧水広場）



自らの手で水の恵みを守る

—平成 13 年 9 月 23 日（秋分の日）

柿田川公園周辺について—

柿田川湧水の豊かな水の恵みに感謝し、自ら水環境を守る意識を高めてもらおうと、柿田川湧水保全の会が柿田川周辺の清掃活動を行いました。

同会は、一般町民、水と緑の少年団、清水中学校の3年らに呼びかけ、約300人が参加しました。

参加者は、公園、国道1号沿い、周辺道路をくまなく巡回し、ごみ、吸い殻、空き缶、落ち葉などを拾い集めました。

資料4-1 町広報紙「しみず」^{けいさい}掲載記事

◆^{さんろく}富士山麓^{しょくじゆ}の植樹運動

柿田川^{すいげん}の水源である富士山麓の地下水を保全するために、富士山麓の国有林にブナ^{なえぎ}などの苗木を植える植樹活動が進められています。(写真4-8参照)

植樹活動は、(財)柿田川みどりのトラスト、沼津市民協議会、三島自然を守る会、柿田川湧水保全の会^{かんきよう}などの環境保護団体で構成する「柿田川・東富士の地下水を守る連絡会」^{れんらく}が中心となり、清水町、三島市、沼津市、長泉町も協力しています。^{ながいずみ}

植樹は1997年から続いており、毎年200人以上の人が参加しています。(写真4-9参照)

In order to preserve the underground water of Mt. Fuji, which is the source of the Kakita River, efforts are made by planting young trees, such as the Japanese Beech, in the national forest at the base of Mt. Fuji.



写真4-8 植樹場所



写真4-9 植樹活動の様子